

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	鹿児島県	事業実施主体	鹿児島県、日置市	地域再生計画名	日置市らしさを感じる魅力と活力あふれるまちづくり計画
計画期間	令和2年度～令和6年度	評価責任者	日置市産業建設部建設課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度	指標総数		達成数			
	観光交流の活性化		243万人	H30	246万人	R4	206万人	250万人	R6	×	3	1	新型コロナウイルスの影響によるイベント自粛や観光施設の事業規模縮小などにより、中間実績値が中間目標値を下回る結果となった。しかし、R5より新型コロナウイルスが5類指定されたことにより、観光入込客の復調に期待できる。引き続き事業進捗を図る。
	移住・定住人口の増加		532人	H30	730人	R4	973人	900人	R6	○	3	1	市道整備及び東市来都市計画事業等により、移住定住人口の増加の中間実績値が中間目標値を上回る結果となった。リモートワークの推進など働き方改革による都市型生活圏から地方への移住の傾向があることも一因と考える。
	林業の振興と森林整備の促進		16,500m ³	R2	16,600m ³	R4	15,063m ³	17,000m ³	R6	×	3	1	素材生産量は目標値を下回った。施業内容の大半が、皆伐に比べ面積当たりの素材生産量が小さくなる間伐であることが原因と考えられる。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度（R4）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）		9.0km	4.3km	7.4km	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、47%と若干の遅れが伺えるため、必要に応じ、次期計画の検討も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
	林道整備事業（整備延長）		1.5km	0.3km	1.1km	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、20%と若干の遅れが伺えるため、必要に応じ、次期計画の検討も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
その他の事業													
③評価方法	中山間地域総合整備事業	農業と都市住民との交流を促進するため生産基盤と生活環境基盤を整備	東市来・伊集院地域を区域とした中山間地域総合整備事業日置地区、日吉・吹上地域を区域とした中山間地域総合整備事業日置南部地区として、事業を展開しており、事業進捗としては約40%である。ほ場整備や農道整備等の生産基盤や集落道整備等の生活環境基盤の整備が進むことにより、物産館や直売所等への流通の拡充や集落内の安全且つ快適な生活空間の向上が図られている。										
	東市来都市計画事業	都市計画道路をはじめとした公共施設整備、住宅地の利用促進を図り、健全な市街地の形成を図る。	土地区画整理事業を施行することにより湯の元駅周辺のバリアフリー化と良好な都市基盤や宅地整備が進み、既存の医療施設や温泉施設へのアクセス向上が図られ、魅力あるまちづくりと温泉街のにぎわいの復活を期待される。										
	日置市九州・全国大会等開催補助金制度（日置市単独事業）	総合運動公園施設等で九州・全国大会を開催する団体に運営経費の一部を助成	トップセールスや幅広い周知活動により多くの大会が開催され、スポーツ交流人口の増加につながったと考えている。さらに団体等に向けた施設の充実やアクセスの良さをアピールして、開催大会の拡大と定着化を目指している。										
	日置市スポーツ合宿誘致助成制度（日置市単独事業）	日置市内体育施設を利用するため日置市内に宿泊する団体に宿泊費の一部を助成	交通至便の地の利を生かし、地域の魅力や各施設の情報を広く発信し、利用団体の増加につながったと考えている。一方、利用団体に市の物産館などを利用してもらい産業の活力など経済の相乗効果が期待される。										
	観光地の魅力向上（日置市単独事業）	他市の観光地との相互協力の関係を築き、交流、情報交換などにより、誘客の促進を図る。	新規パンフレットの作成やメディア等の広告媒体を活用したことで、観光客の増加につながったと考えている。また、他市との連携をより一層強化することで、更なる経済効果が期待される。										
	森林環境贈与活用事業	森林環境贈与税を財源に、林道の維持・補修や森林資源量調査などを行い、森林施業の活性化を図る。	森林環境贈与税を活用し、森林経営管理制度を実施している。令和2～4年度の間で338haに着手し、森林経営の効率化・管理の適正化を図っている。										
④中間評価の公表方法	日置市のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	指標値の達成は1/3となった。指標の目標を実績が下回った理由として、新型コロナウイルスの影響が大きく、物産館や観光施設の入込客数は増えているが、イベントやスポーツ大会の中止等により、日置市への観光入込客数が極端に減ったことが要因と考える。また、用地協議や整備計画の再検討により、一部路線で事業着手が難航しているが、用地取得が進んでいる路線を優先的に行うなど、柔軟に事業を進めていきたい。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無） 令和6年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円												
⑦今後の方針等に対する対応	●必要に応じ、計画期間の延長や次期計画策定の検討も視野に入れ、引き続き、事業進捗を図る。												